

平成23年
新司法試験
最新合格者講義
OPEN

■公法系を得点源にするための、公法系弱点克服。

公法系で失敗しない 答案の「形」

東京本校 11/11(金) **LIVE**
辰巳各本校 11/16(水)~ **VB**
通信部 発売開始 11/23(木)

講座仕様

回数 全2回・6時間

科目 公法系

教材 ・講師作成オリジナルレジュメ
・論文公法系再現答案 (H18~H23)

※別売教材

- ・憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ
- ・行政法判例百選Ⅰ・Ⅱ

講師 平成23年新司法試験合格者

羽部 紗耶香 講師

Profile

早稲田大学第一文学部、東京大学法科大学院既修コース修了。2009年・2010年と2度の不合格を経て、平成23年新司法試験にて、晴れて新司法試験3回目合格。

公法系120点以上(上位3%以内)を3回目受験でマークし、公法系で涙を呑んだ受験生の役に立つことがあれば、また、自身の浪人生活における不安や“3度目”の恐怖を乗り越えた経験を伝えたいと思い、辰巳の教壇に立つ決意をする。

法的なセンスが問われる公法系では
『**審査委員に好まれる**』答案作法をアピール!

公法系は、民事系・刑事系に比べて比較的読みやすい問題文といわれています。しかしながら、読みやすい問題文であるからこそその難しさもあります。平成23年の論文公法系で涙を呑んだ受験生も多いのではないのでしょうか。また、合格者の中でも、公法系で大きく落ち込んでいる方も多いのではないのでしょうか。その中で、講師は、“今年の公法系の問題は「楽しんで」答案が書けた”と話しています。

なぜか? 問題文から書くべきこと(原告・被告双方がそれぞれ勝ち筋で論じるために主張すべき事実)が手に取るように見えてきて、あらかじめ準備していた答案の「形」に落とし込んだ、これだけです。本講座では、3回にわたる新司法試験経験の中で講師が確立した、どんなに未知の問題が出題されても対応できる公法系答案の「形」を示します。これだけで、公法系での落ち込みを最小限に押さえ込むことができるはずです。また、平成18年(第1回)から平成23年(第6回)の論文公法系再現答案を用いて、一般的な受験生の答案の「形」を講師が確立した答案の「形」に修正していきます。

劇的に読みやすくなる(審査委員に好まれる)答案に変化するプロセスをお見せします。

講師メッセージ

新司法試験で求められる力とは何でしょうか。問題文から法的问题をピックアップし、それを解説した上で、答案を書き、試験委員に伝えなければなりません。

公法系は、知識はあるのに答案にどうやって書いていいかわからないという方が多いと思います。今まで一緒に勉強した仲間のいろいろな答案を読んできました。民事系と異なり、公法系は最低限の知識さえあれば足ります。

しかし、たとえ知識の量に差が大でなくても、優秀な答案と平凡な答案、読みにくい答案とはっきり分かれやすい科目だと思います。

私も最初は表現の自由の問題だ、財産権の問題だとわかっているのに書けない、という状態でした。

しかし、公法系で求められる答案の「形」を身につければ、憲法は覚えることが少なく、行政法は誘導にのればいいので得点源にできます。これを機会に公法系を得意にしましょう。

今思えば、3度の受験はつらいことも多かったです。勉強の中身だけでなく、勉強の仕方や休み方など、3回受験した私だからこそみなさんに伝えられることがあると思います。みなさんの力に少しでもなればと思い、講義をします。一緒にがんばりましょう!

スケジュール

東京本校	辰巳各本校		通信部
LIVE	VBアース		発送日
	時間割	利用開始	以降随時
11/11(金)	10:00-13:10 14:00-17:10	11/16(水)	12/16(金)
			11/23(水)

※辰巳各本校...東京・横浜・大阪・京都・名古屋・福岡本校

受講料(税込)

通学部			通信部				
講座コード	辰巳価格	代理店価格	DVDコード	MDコード	放物コード	辰巳価格	代理店価格
11NA8*	¥11,000	¥10,450	R-302R	R-302M	R-302	¥12,100	¥11,495

※注1 通学部は、受講会場(東京校・大阪校など)を申込段階でお選びいただけます。

※注2 通信部は、媒体の別(DVD又はカセットテープ又はMD)をお選びいただけます。

MDはMDLP対応機種のみ、DVDはDVD-R対応機種でのみご利用いただけます。ご自身のプレーヤーをご確認のうえ申し込み下さい。

※注3 注1での選択を、上記受講料表中の「講座コード」の「*」の箇所以下記表の会場コードによって記入して下さい。

例) 東京校でLIVE又はVideoBoothで受講の場合→「講座コード11●●●*」の「*」に「H」を当てはめ→「11●●●H」

講座コードの「*」に当てはめる、通学部の会場選択・通信部の媒体選択の記号の一覧表

通学 東京校はH	通学 横浜校はY	通学 大阪校はK	通学 京都校はM	通学 名古屋校はN
通学 福岡校はF	通学 宇都宮校はU	通学 岡山校はL	通学 高松校はA	通学 鹿児島校はZ